

会 長 あ い さ つ

宮崎県校長会 会長 丸尾 裕

春光の折 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

令和3年度の宮崎県校長会会長としてご承認をいただきました宮崎市立住吉小学校の丸尾裕です。新役員を代表しまして、ごあいさつを申し上げます。

この3月末の定期異動により、小中学校で76名の先生方がご勇退をされました。そして新たに、小学校46名、中学校28名の先生方が校長に採用され、また、7名の先生方が県教育委員会より転入されました。この度の校長就任を心よりお喜び申し上げます。これまでに培ってこられた経験と力量をもとに、新たな感覚で学校の経営にご尽力くださいますようご期待申し上げます。

ところで、昨年1月に、『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協同的な学びの実現～』について、中央教育審議会の答申が示されました。個別最適な学びと協同的な学びの実現を図るにあたっては、学校における働き方改革やGIGAスクール構想を推進すること、新学習指導要領を着実に実施すること、学校教育を社会に開かれたものにしていくことなどが重要であることが述べられています。

このように、教育は、時代とともに改革が進められています。私たち校長は、このような教育改革をしっかりと受け止めるとともに、こうした変化の激しい時代の中で、ますます求められるのが、校長のリーダーシップということになるのだと思います。

コロナ対応をはじめ、不登校生の増加や保護者等からの多様な要求も多くなるなどの様々な課題があり、その解決に苦心している学校も多いことと思います。また、インターネットやスマートフォンでのSNS利用は、利便性とは裏腹に、大きな影を落としている状況も見られます。

このような課題に対しまして、県校長会としても、これまで以上に県教育委員会、市町村教育委員会と連携して、一体となって取り組んでいかねばならないと考えます。まずは、その最前線にいる私たちが、今まで以上に、校長同士の連帯感、結束力を強化する必要があります。情報交換や相談でき、助けあえる仲間のいる校長会。存在意義がある校長会。そのような校長会でありたいと願っています。校長が、自分一人で問題を抱え込むことなく、県内328名の会員が心をつなげて、立ちほだかる課題を解決していかなければなりません。校長先生方お一人お一人の後ろに、市町村校長会・支会校長会があり、県校長会があることを感じられるような組織を創っていかねばならないと考えております。どうぞ、今後とも各校長先生方のご理解とご協力をお願いいたします。